

## 菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 原発事故に伴う畜産業の振興について
- ② 原発事故による市民の避難状況について

### 問

- ① ① 4月から牛の餌も100ペクレルとなることから、農家では餌確保が喫緊の課題。行政の支援は。  
② 廃用牛処理も一刻を争う問題。岩手・宮城両県は予算を組み進んでいる。市として直ちに県に働きかけを。
- ② 他市等に避難した子どもを含めた市民の人数は。避難先でひきこもりや孤立しがちな中での、市からの情報提供等は。子どもたちが差別なく保育や幼稚園教育が受けられることができる対応になっているか。

### 答

- ① ① 市としても県を通じて他県への確保要請を行うよう協議している。  
② 県で廃用予定の調査を進めており、廃用牛専門の肥育農家とマッチングを行うので、関係団体と協議する。県の取組みもまだまだ不十分で引き続き要望する。
- ② 2月末で乳幼児201人を含む584人。県、国に協力依頼し情報の配信、収集に取組む。事情により児童福祉法で規定する広域入所という制度があるので検討していく。

## 佐藤 源市

[あぶくま会]



- ① 代替エネルギーへの取り組みについて
- ② 復興のための国等の施設の誘致について

### 問

- ① ① 市施設への自然エネルギーの取り組みの実態について。



東和小学校敷地内に設置された太陽光発電システム

- ② 河川等への小規模水力発電の取り組みについて。
- ② 市遊休地、施設の有効活用を図るため、国県及び事業団、企業の研究施設等の誘致について。

### 答

- ① ① 太陽光発電システム40kW、風力発電は150Wであり、今後は公共施設に率先して導入、エネルギーの地産地消を推進する。  
② 水力発電は年間を通して安定発電が見込まれる。市内にも適地があり関係機関と調整し導入に向け調査研究をする。
- ② 県復興計画に医薬医療機器産業の集積エリアの位置付けされ、本市計画工業団地が復興工業団地の候補地であり、積極的に誘致推進をする。

## 齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- ① 「消費税と社会保障の一体改革」の市民への影響について
- ② 安達地区の新たな都市づくりについて

### 問

- ① ① 平成24年市税の賦課総額は55億6千万円。消費税10%アップへの影響について。  
② 税申告における年少扶養控除(16歳未満)の廃止、特定扶養控除縮小(16歳~22歳)の影響について。  
③ 赤字法人の割合と法人税所得割の階層別割合は。  
④ 年金給付が今後3年間で2.8%引き下げとなる影響額は。
- ② 安達支所東、安達グランド南、福岡鶴巻線沿線の開発について。

### 答

- ① ① 地方消費税交付金から試算すると市民の負担額は111億円。  
② 年少は5,750人、特定は1,200人。1億2,200万円の市民税増税と試算される。  
③ 1,197法人のうち赤字は71%。黒字でも100万円未満納付法人は84%を占める。  
④ 市民の国民年金支給額は17,056人で107億円。年間1億2,700万円の削減込み。
- ② 農振地域の用途見直しが必要。宅地化が見込めるのでインフラ整備したい。

## 本多 勝実

〔市政刷新会議「創松未来」〕



- ①原子力災害対策直轄室の設置について
- ②長期総合計画及び復興計画について

### 問

- ①①他市のように除染・測定・損害賠償と原子力災害を総合的に担当する市長直轄の対策室を設置すべきではないのか。  
②東電に対する損害賠償市民相談窓口を市で設置すべきでは。
- ②①長期総合計画・復興計画に盛り込まれる主な事業は。  
②事業の優先順位は。  
③各事業の総予算額と実施時期は。  
④震災後の対応をふまえ、復興計画策定と一緒に本市の防災計画を見直すべきではないか。

### 答

- ①①市長を対策本部長として全庁あげて原子力災害に対応しているの、現時点では考えていない。  
②東電が設置した相談窓口と市としては生活環境課で対応したい。
- ②①安達駅周辺整備、向原・上竹線、市民会館改修など。  
②総合的に判断するため具体的には示せない。  
③財源など不明な部分があるため、具体的には示せない。  
④県の防災計画見直しが行われてから検討する。

## 新野 洋

〔市政刷新会議「創松未来」〕



- ①県外避難者への帰松政策について
- ②除染計画における雨水によるセシウム流入防止策について

### 問

- ①現在でも避難を模索している若者もある中、今までに県外等へ避難して行った市民に対し、帰松誘導に向けて、何らかの対策は検討しているのか。
- ②水溶性のセシウムは水によって運ばれ集まってくる性質がある。この流入防止策としての排水対策は検討しているのか。特に観音丘陵近隣等の住宅密集地では、落葉等を伝って来る雨水により、線量が上がり続けている場所がある。早急に排水対策をすべきではないか。

### 答

- ①生活空間の除染を最優先に取り組み、安心して住むことのできる環境回復、食の安全の徹底、健康管理の充実、教育環境の整備を進めて、これらの状況を避難者に情報発信し帰還を促してまいりたい。
- ②セシウムの流入防止対策として、住居、学校等周辺山林の林縁の落葉や枝葉等の除去を行っている。  
引き続き公園等林縁も行う。観音丘陵近隣等の住宅地への雨水流入防止の排水対策については、環境省と話をさせていただきたい。

## 平成24年第1回(1月)臨時会

1月臨時会は1月19日に開催されました。提出された議案等は、報告1件、議案3件で審査の結果全て原案のとおり可決されました。今回の予算補正は、原発事故による放射能汚染対策として、食品、農産物、飲料水等の測定の充実、農地の除染等の実施、大震災、台風15号関係の災害復旧費等です。

主な内容は次のとおりです。

◎放射能測定器購入費等の増額	3,525万2千円
◎水田除染事業等の増額	11億4,933万7千円
◎果樹除染事業の増額	5,380万1千円
◎畜産原発事故対策事業の増額	7,247万9千円
◎小学生対象冬期リフレッシュ事業の増額	633万3千円
◎小・中学校食品放射能測定経費の増額	352万1千円
◎二本松城跡本丸等石垣災害復旧事業の増額	7,579万円

## 平成24年第2回(2月)臨時会

2月臨時議会は2月21日に開催されました。提出された議案等は、報告2件、工事請負契約の締結1件で、審議の結果原案のとおり可決されました。

◎工事請負契約について

道の駅「安達」下り線施設新築主体工事

2億2,144万5千円(消費税込)

### 本会議の映像をインターネットで配信しています

◎本会議の様相を収録した映像をインターネットで配信しています。

◎市ホームページを開き、「二本松市議会」、「録画中継」の順にクリックしていただくとご覧になれます。

二本松市議会映像配信アドレス

<http://www.discussvision.net/nihonmatsusi/index.html>